

ピンチをチャンスに。見せちゃれ広島の底力！
創造的復興による新たな広島県づくり

平成 3 0 年 1 1 月
広 島 県



安芸郡熊野町川角



広島呉道路（安芸郡坂町水尻）



山陽自動車道（志和トンネル付近）

平成30年7月豪雨災害による被災状況



J R 呉線（安芸幸崎駅付近）



沼田川（三原市本郷南）



広島市内スーパーマーケット

気象概況

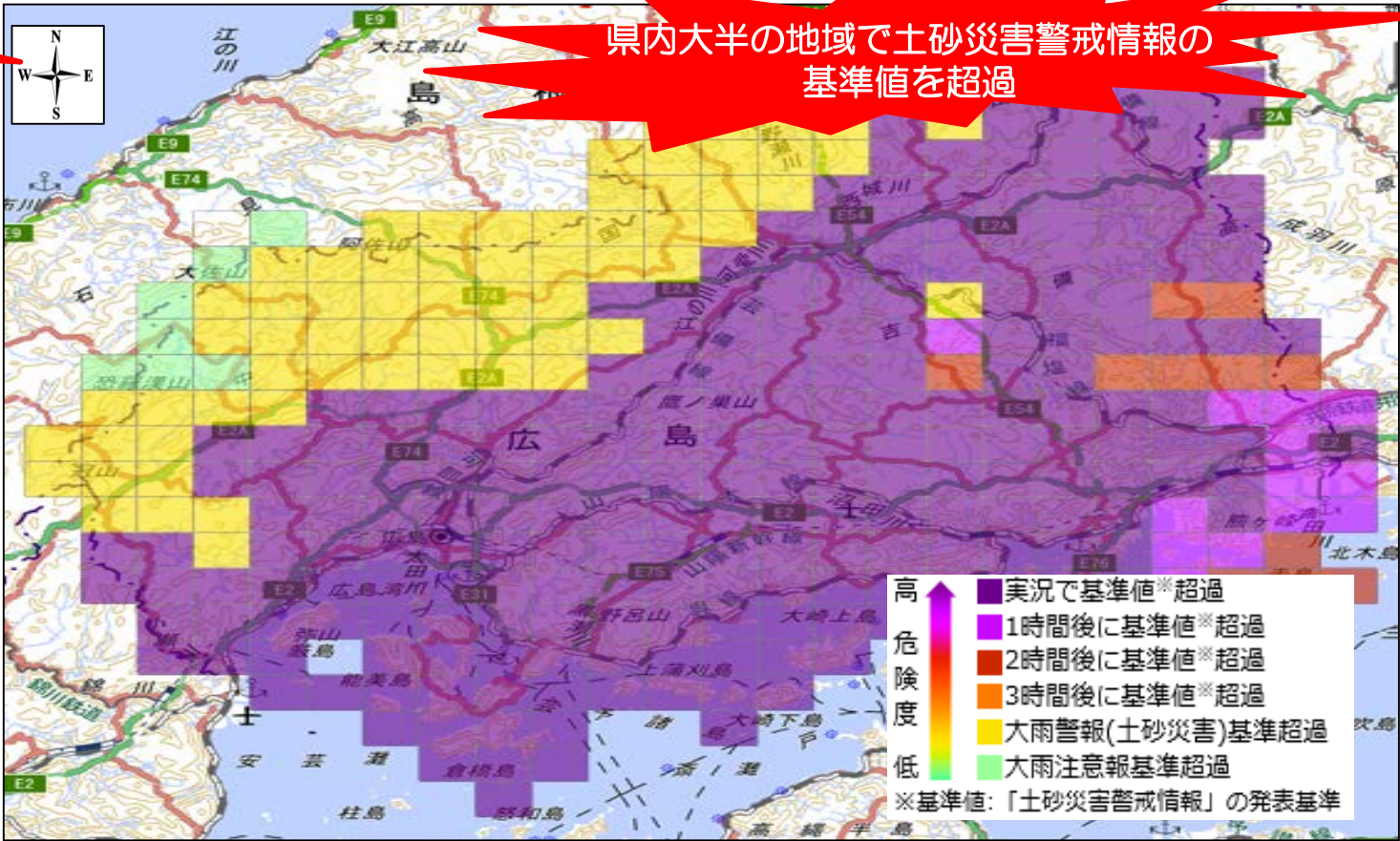
僅か6日間で最大月間降水量（7月）に
匹敵する過去最大規模の豪雨

安芸区役所雨量観測局 （広島市安芸区）	累 積 雨 量 / 最 大 時 間 雨 量 /	478mm 7月3日 0時～8日24時 70mm 7月6日19時～6日20時
警固屋雨量観測局 （呉市）	累 積 雨 量 / 最 大 時 間 雨 量 /	654mm 7月3日0時～8日24時 60mm 7月7日5時～7日6時
野呂川ダム雨量観測局 （呉市）	累 積 雨 量 / 最 大 時 間 雨 量 /	676mm 7月3日 0時～8日24時 63mm 7月6日21時～6日22時
黒瀬町雨量観測局 （東広島市）	累 積 雨 量 / 最 大 時 間 雨 量 /	511mm 7月3日0時～8日24時 48mm 7月7日5時～7日6時
本郷雨量観測局 （三原市）	累 積 雨 量 / 最 大 時 間 雨 量 /	490mm 7月3日0時～8日24時 60mm 7月7日5時～7日6時

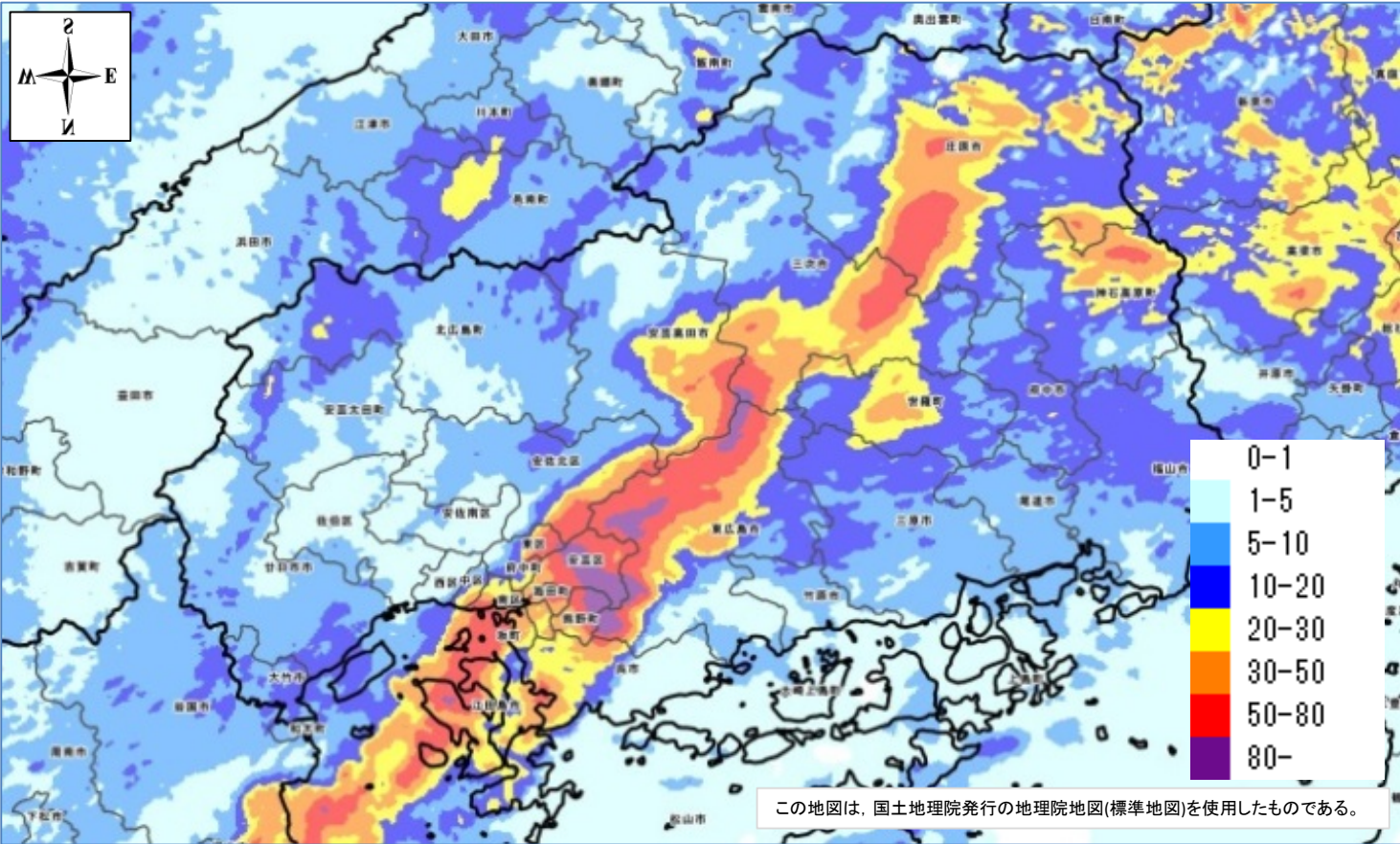
【参考】過去の7月の最大月間降水量
広島 645.5mm(1993年), 呉 594.0mm(2009年)

7月6日19時40分 大雨特別警報発令

県内大半の地域で土砂災害警戒情報の
基準値を超過



土砂災害危険度情報（平成30年7月7日6時）雨量出典： 広島県土砂災害危険度情報



雨量分布図（XRAIN実況 平成30年7月6日19時40分）雨量出典：国土交通省XRAIN



等雨量線図（平成30年7月3日0時～8日24時）雨量出典：広島県防災Web

死者・行方不明者100名超
過去50年で最大の人的被害

＜人的被害＞（H30.11.22）

死亡	109
行方不明	5
合計	114



（写真提供）三原市

＜避難状況＞（H30.11.22）

避難所開設数	4 (702)
避難者数	0 (17,379)

※（ ）は7月7日 6時時点

＜その他の被害状況＞

住宅被害 (H30.11.22)	15,578
土砂災害	1,242箇所（23市町）
浸水被害	破堤12河川 越水82河川

県全域にまたがるライフラインの被害

区分	最大時	現在
停電	約4万7千戸 (7月7日 8時時点)	解消 (7月13日)
断水	約22万戸 (各市町ピーク時)	解消 (8月10日)

＜断水した市町＞



✓ 給水所に並ぶ住民の方々



（写真提供）江田島市

道路・鉄道への被害による大動脈の寸断

線路敷が流失し寸断される鉄道



J R 山陽本線（河内～本郷駅間）

（写真提供）JR西日本

各地の通行止めで大渋滞



広島熊野道路

店頭から消えた商品



広島市内のスーパー

県内企業の操業不能続出

操業停止等あり	147事業所
直接被害あり (倒壊, 土砂流入, 浸水)	105事業所

（8月10日12時時点 広島県調査）

マツダ・・・通勤・物流の影響により操業停止
7/12から体制を縮小して再開
7/23から生産量を抑えて昼夜の交代制で再開

ゼンイレブ・・・弁当・惣菜の生産現場
が一時操業不能
一時従業員の通勤困難により
生産を4割に縮小

孤立状態となった地区

3万2千人超（9市町）が孤立状態に
（7月10日 17時時点）



安芸郡坂町小屋浦



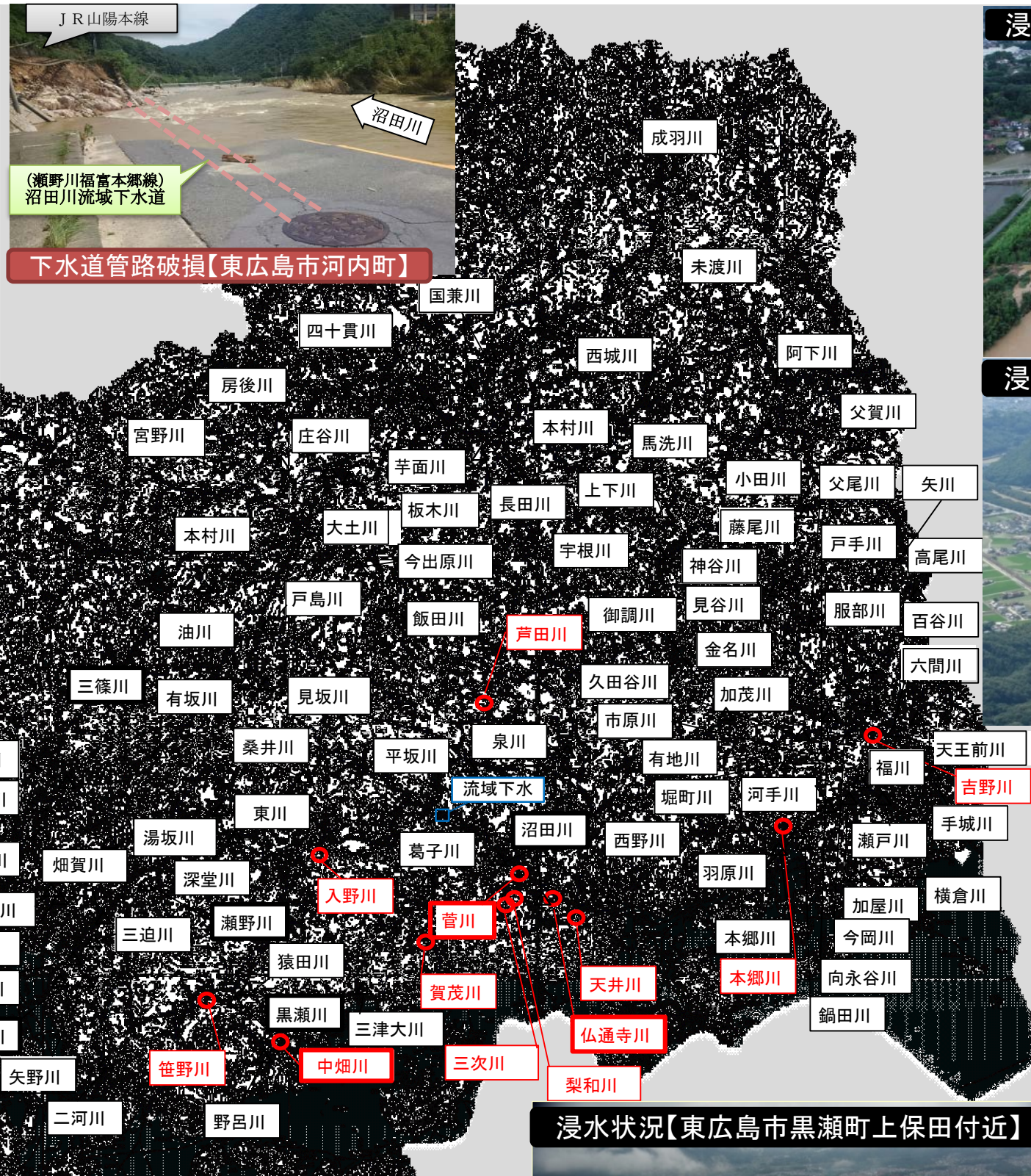
交通ネットワークの被災状況



被災状況 (災害通行規制区間) H30.7.6 22:00時点

道路	高速道路	NEXCO 西日本	山陽自動車道：県内全線 中国自動車道：千代田ICから県内以東 広島呉道路：全線 浜田自動車道：千代田JCTから県内以北
		本四高速	西瀬戸自動車道：県内全線
		広島高速道路	広島高速道路：全線
高速道路 (無料区間)	高速道路	国道交通省	尾道松江線：県内全線 東広島・呉自動車道：全線
	一般道	国道交通省	一般国道2号：東広島～福山 一般国道31号：坂～呉 一般国道185号：呉～三原
		広島県	132路線272区間(内片側交互通行65区間) (H30.7.9 17:00時点)
鉄道		JR西日本	山陽線：笠岡～岩国間運休 呉線：三原～海田市間運休 芸備線：新見～広島間運休 福塩線：福山～神辺、府中～塩町間運休 (H30.7.6 14:45時点)
高速 バス		広島電鉄等	広島空港リムジンバス：運休 都市間高速バス：運休

河川・流域下水の被災状況



浸水原因別河川数		流域下水被災箇所数	
	河川数		箇所数
破堤	12	破損	4
越水	82		

(広島県土木建築局河川課調べ)



土砂災害の発生状況

土砂災害発生状況

土砂災害発生箇所数(※)

1,242 箇所

凡例	●	土石流
	●	地すべり
	●	急傾斜

※発生件数は土砂災害危険箇所内で土砂災害が発生した箇所、土砂災害危険箇所以外で土砂災害による人的被害及び人家被害等が発生した件数（広島県土木建築局砂防課調べ）

土砂災害による人的被害

計 87 名



広島市安佐北区口田南3丁目
【1名死亡】



熊野町川角5丁目【12名死亡】



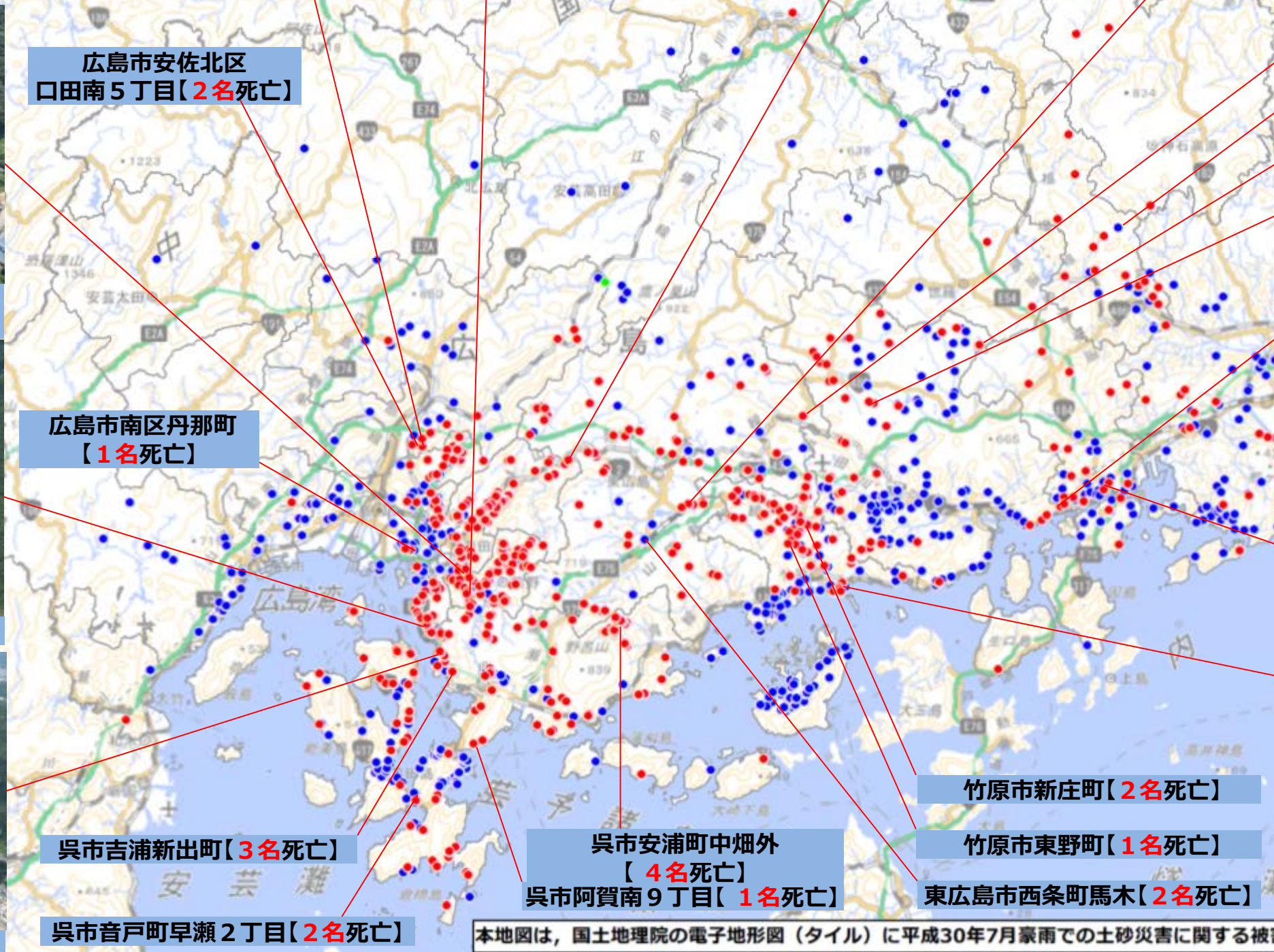
広島市安芸区上瀬野
【4名死亡】



東広島市西条町下三永【3名死亡】



広島市安芸区矢野東7丁目外
【12名死亡】



広島市安佐北区
口田南5丁目【2名死亡】

広島市南区丹那町
【1名死亡】

東広島市河内町中河内
【3名死亡】

府中市木野山町【1名死亡】

三原市久井町【2名死亡】

三原市大和町【2名死亡】



三原市木原6丁目【1名死亡】

尾道市防地町外【2名死亡】



坂町小屋浦【15名死亡】



呉市天応西条外【10名死亡】

呉市吉浦新出町【3名死亡】

呉市音戸町早瀬2丁目【2名死亡】

呉市安浦町中畑外
【4名死亡】
呉市阿賀南9丁目【1名死亡】

竹原市新庄町【2名死亡】

竹原市東野町【1名死亡】

東広島市西条町馬木【2名死亡】

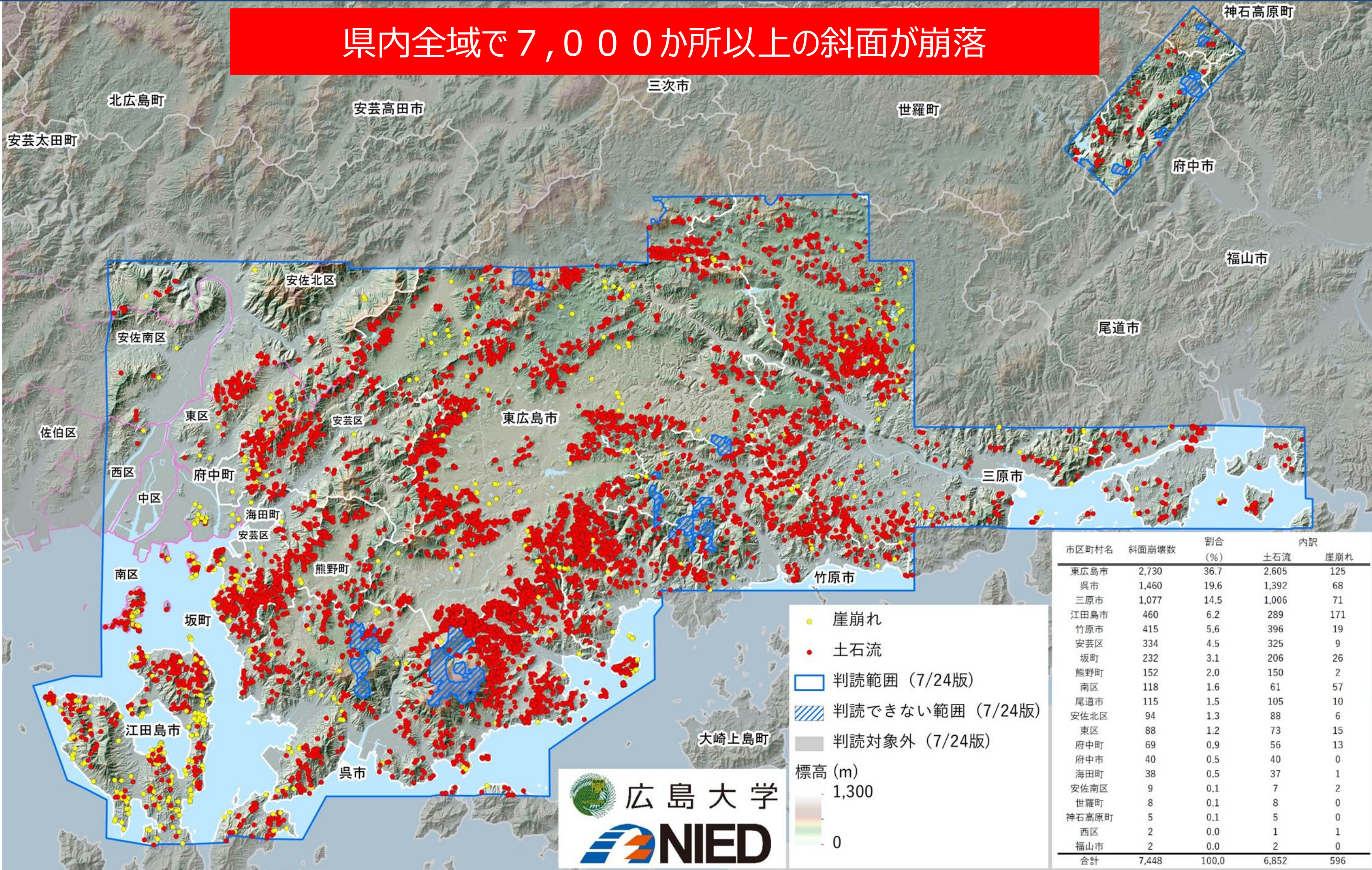


竹原市港町5丁目【1名死亡】

本地図は、国土地理院の電子地形図（タイル）に平成30年7月豪雨での土砂災害に関する被害箇所を追記して作成したものである。

崩壊発生地点分布図

県内全域で7,000か所以上の斜面が崩落



(提供) 広島大学平成30年7月豪雨災害調査団 (地理学グループ) 「平成30年7月豪雨による広島県の斜面崩壊分布図」 (2018年7月24日)

被災状況

東広島市黒瀬町及び呉市安浦町における崩壊状況

1つの山で複数の土石流が発生



①



②



国土地理院垂直写真

災害の影響を最小化させる迅速な応急対応

避難所

被災者の健康管理や
避難所の環境整備を図り

酷暑の中
厳しい避難所生活を支援

＜避難状況＞

区 分	最大時	11月22日 15時
避難所開設数	702 (23市町)	4 (2市)
避難者数	17,379	0

- ✓ 医療救護班・・・7月10日～ 延236チーム

✓ 災害時公衆衛生チーム・・・7月9日～ 延1,583チーム

✓ DPAT(災害派遣精神医療チーム)・・・7月7日～ 延57チーム
- ✓ 仮設トイレ 11避難所（計38台）

✓ クーラー等 29避難所（計150台）

による環境改善

プッシュ型支援



避難用住宅

住家を失った被災者の一時的な居住のため

避難用住宅を確保

＜提供戸数＞

区 分	戸 数
職員公舎・教職員公舎	37戸
県営住宅	347戸
応急仮設住宅	209戸

✓ 応急仮設住宅～169戸は入居開始



- ✓ 職員公舎・教職員公舎
- ✓ 県営住宅
- ✓ 民間賃貸住宅を提供



[坂町平成ヶ浜中央公園応急仮設団地]

住宅被災者支援

住宅被害を受けた方への
相談窓口の設置

- ✓ 住宅の応急修理
 - ✓ 応急仮設住宅等公的支援制度の案内
 - ✓ 自宅再建
- に向けた相談を受け付ける窓口を設置

＜協力する建築関係団体＞

(公社)広島県建築士会	(一社)広島県建築士事務所協会
(公社)日本建築家協会中国支部広島地域会	(一社)広島県建築センター協会
(一社)広島県住宅産業協会	(一社)日本ツーバイフォー建築協会広島支部
(一社)日本住宅リフォーム産業協会中国四国支部	(一社)広島県工務店協会
(一社)日本建築構造技術者協会中国支部	広島ハウスメーカー協会

被災後の復旧・支援の状況（応急対応）

国や他の地方自治体、民間の支援を得て、緊急的な復旧や被災者の支援を実施

給 水

沼田川水道用水の送水管 応急復旧工事完了



8/10に県内全ての断水が解消

(15市町 ⇒ 0市町)



応急給水拠点



＜断水状況＞

	最大時 各市町ピーク時
断水	約22万戸

＜応急給水拠点状況＞

	最大時 7月15日15時
拠点	130か所

道 路

高速道路	7/10 東広島呉自動車道全通, 7/14 山陽自動車道全通・広島高速1号線全通等 7/20 中国横断自動車道尾道松江線全通, 9/27 広島呉道路全通
------	---

人流・物流確保

広島⇄呉
(7月11日)



国道31号
(坂町水尻)

仮設道(迂回路)設置



東西の大動脈
全区間復旧

山陽自動車道
(7月14日)



山陽自動車道
(志和トンネル)

全線開通後



輸 送

通勤・通学等支援のため 緊急輸送バス運行



J R 呉駅前



J R 呉駅
～広島駅間

海上自衛隊輸送艦による
ガソリン不足対応



広島→呉

ボランティア

土砂・家財道具撤去・災害ゴミ運搬などに
多数の ボランティア が応援



8月31日 時点

18市町に
延べ9万3千人が参加



災害廃棄物等の処理対策

処理能力を超える大量の災害廃棄物等



三原市旧船木小学校仮置場

✓ 積み上げられた災害廃棄物の山



呉市天応西条

✓ 個人では対応しかねるガレキまじりの土砂

＜仮置場設置状況＞

	8月2日時点
仮置場	96か所 (18市町)

長期化する道路や鉄道等の復旧

・交通ルートのいち早い回復



広島呉道路
(坂北IC～呉IC)

主要道路の再開
広島呉道路：平成30年9月27日

J R 路線の全線再開予定
山陽本線：平成30年9月30日
呉 線：平成30年 12月中
芸 備 線：運転再開まで長期間
福 塩 線：平成30年12月中



JR芸備線
(白木山～狩留家駅間)

✓ 運転再開に少なくとも1年以上が見込まれるJR芸備線



JR山陽本線
(本郷～河内駅間)

主要地方道
瀬野川福富本郷線

円滑な通勤・通学輸送手段の確保

交通ルート復旧までの間の
円滑な生活交通の確保



J R 広島駅構内

- J R 呉線沿線で代行バスの運行
 - ・ 広駅～坂駅, ・ 呉駅～坂駅
 - ・ 広駅～呉駅
- J R 芸備線沿線で代行バスの運行
 - ・ 下深川駅～三次駅, ・ 三次駅～備後落合駅
 - ・ 備後落合駅～新見駅
- J R 福塩線沿線で代行バスの運行
 - ・ 三次駅～上下駅

被災者への医療救護・心身のケア活動

- 救命，応急処置 D M A T (災害派遣医療チーム)～延109チーム
- 医療救護活動 医療救護班～延236チーム，延2,346人診察
- 避難所における感染症予防対策 J M A T 感染症対策チーム～延15チーム
- 避難所等における健康管理 災害時公衆衛生チーム ～延1,583チーム
- 精神科医療・こころのケア活動 D P A T (災害派遣精神医療チーム)～延57チーム
- 高齢者・障害者(児)への戸別訪問 介護福祉士等 ～延1,736名訪問





被災直後



河川・道路の土砂を撤去

◆ 災害見舞金の支給

[広島県災害見舞金]

- ✓ 住居が全壊または半壊した世帯の世帯主に見舞金を支給

◆ 住宅被害に対する支援

[被災者生活再建支援制度]

- ✓ 居住する住宅が全壊するなど、生活基盤に著しい被害を受けた世帯に対して支援金を支給
 - ・ 被害程度に応じた支給[基礎支援金]
 - ・ 再建方法に応じた支給[加算支援金]

◆ 義援金

- ✓ 共同で義援金を募集
 - ・ 日本赤十字社広島県支部
 - ・ 広島県共同募金会
 - ・ N H K 広島放送局
 - ・ N H K 厚生文化事業団
- ✓ 受付金額：約 7 6 億円(10/10時点)

◆ 子どもの養育・就学支援

- ✓ 保育料，入園料の軽減
- ✓ 児童・生徒の教科書等を支給
- ✓ 小中学生の校外活動費等を援助
- ✓ 高等学校の授業料等の減免
- ✓ 大学等授業料等の減免



家屋に流入した土砂の撤去
(自衛隊・市町)



家庭からの廃棄物の処分
(市町)



自衛隊による土砂の撤去



ボランティアによる土砂の撤去

経済活動の早期再生・新たな発展

交通ネットワークとマンパワーの確保

【交通ネットワークの確保】

- 道路啓開（土木建築局）
通行可能箇所を県ホームページに，災害規制区間全箇所の解除予定時期を「ひろしま道路ナビ」に掲載
- 物流ルート確保（商工労働局）
山陽自動車道（河内 I C～広島 I C）に救援物資等輸送車両の通行が可能となるよう調整
- 円滑な通勤・通学手段の確保（地域政策局）
 - ・広島・呉間… J Rによる緊急輸送バス，広島電鉄クレアライン便（増便）運行，広島港への緊急輸送船の運航
 - ・呉線沿線，芸備線及び福塩線沿線で J R 代行バスの運行(7/12～)
 - ・主要地方道矢野安浦線の通行止めに伴う広島熊野道路への迂回車両対策（7/7～9/8）
 - ・ J R が運転休止線区の再開見込及び代行バス運行計画等を発表。（当初発表より運転再開時期を前倒し）

【マンパワーの確保】

- 災害マネジメント総括支援（総務局・危機管理監）
県職員を 2 市に派遣，災害マネジメント総括支援員を 6 市町に派遣
- 災害対応業務支援（危機管理監）
市町の災害対策本部運営業務や罹災証明関係業務，避難所運営業務などを支援

最速の安全確保とインフラの強靱化

ライフラインの復旧

□ 県営水道施設復旧（企業局）

- ・広島水道用水供給事業／太田川東部工業用水道事業（7/16復旧）
- ・沼田川水道用水供給事業／沼田川工業用水道事業（7/18復旧）

□ 給水支援（企業局・健康福祉局）

断水している地域において、自衛隊や民間からの支援を受け、応急給水拠点を設置

- ・応急給水拠点最大133箇所（～8/10まで）、飲料水提供約7.6万本

消防水槽車の航送により緊急を要する医療機関等への給水を実施

□ 下水道施設復旧（土木建築局）

損傷していた沼田川流域下水道幹線において、応急対応として簡易濁水処理装置を設置し、稼働を開始

公共下水道（市町）については、各市町等と連携し被害状況の把握を行い、必要な支援を実施

□ 停電復旧支援（商工労働局・土木建築局）

中国電力株式会社と連携し、停電解消に向け、道路啓開やフェリー確保などを支援

平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン

基本方針

復旧・復興プラン策定の狙い

戦後最大級の災害に立ち向かい、これからの復旧・復興へ向けての
県としての考え方を県民の皆様にお示しするため

基本方針

- 県民生活と経済活動の日常を早期に取り戻す。
- 単なる復旧・復興ではなく、より力強い軌道へと押し上げる。
これらを実現するために、
- 「ピンチをチャンスに変える」視点で取り組む。

新たな視点を持って、県はもとより、県民の皆様、関係者の方々が
一丸となって取り組んでいくことが重要

《県民一丸となる合い言葉》

『ピンチをチャンスに。見せちゃれ広島の底力！』

平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン

この災害を起点とした，創造的復興による新たな広島県づくり

安心を共に支え合う暮らしの創生

- ・被災された方々が一日でも早く，日常の生活を取り戻していただけるよう，一人ひとりに寄り添った包括的な支援を行います。
- ・地域住民と行政が一体となって，見守り，共に支え合う，新たな仕組みづくりに取り組みます。

被災者の生活支援・再建

地域支え合いセンター，こころのケアチームによる包括的な生活支援等

児童生徒の学習環境の確保

児童生徒の心のケア，長期休業期間の短縮による授業時間の確保等

災害廃棄物等の早期処理

市町災害廃棄物処理の支援，円滑な処理に向けた広域調整等

未来に挑戦する産業基盤の創生

- ・本県の経済活動を被災前の状態に再生させ，さらに県内企業の新たな発展に向け，集中的な支援を行います。
- ・生産活動の早期再開に加え，担い手の収益性向上や生産基盤の最適化等に取り組み，生産性の高い農林水産業の振興へ誘導します。

地域経済の再生と新たな発展

産金官による被災企業の早期再生，企業の発展を支えるイノベーション力の強化等

観光産業・ひろしまブランドの復興

観光需要を喚起する宿泊支援，広域連携・単独プロモーションの実施等

農林水産業の復興・経営基盤の強化

経営再建に向けた支援，担い手の農地集積や経営能力向上への支援等

将来に向けた強靱なインフラの創生

- ・被災前の構造にこだわることなく被害の発生要因を踏まえた工法の選定などにより必要な強靱化を進めます。
- ・防災・減災に資する新たなまちづくりを市町と連携して進め，住民の安全な居住が誘導されるよう取組を進めます。

公共土木施設等の強靱化

改良復旧等の積極的な活用，被害の発生要因を踏まえた工法選定等

ため池の総合対策

ため池の緊急点検のデータ整理，防災機能の確保と住民の安全対策の推進等

水道施設の強靱化

全水道施設の被災リスクの洗い出し・対策の実施，送水ルートの上重化等

通勤・通学手段の強靱化

災害時交通需要マネジメントの検討，災害時公共交通情報提供の促進等

医療施設等の機能維持の総合対策

医療施設の業務継続計画の策定，社会福祉施設の非常災害対策の徹底等

新たな防災対策を支える人の創生

- ・実際の災害時において，自ら判断して避難行動をとるために必要となる条件や要素などについて，防災や行動科学の有識者を交えた検証を行い「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の取組を強化していきます。
- ・防災活動をリードする自主防災組織や人材の育成を図ります。

災害に強い人づくり

適切な避難行動の実践のための方策の検討，自主防災組織の育成強化等

安心を共に支え合う暮らしの創生

❖被災者の生活支援・再建～ 被災者の見守り・相談 ～

○被災者の様々な悩みに対応することで、孤立死や自殺の発生防止、並びに生活再建を支援

地域支え合いセンター

市町地域支え合いセンター

- ・ 巡回訪問などによる見守り
- ・ 日常生活上の相談支援, コミュニティづくりの支援
- ・ 生活支援ボランティア活動の実施

支援

県地域支え合いセンター

- ・ 相談員への研修
- ・ 専門職, アドバイザー派遣 等

地域共生社会の
実現に向けた
包括的支援体制の
構築

○専門的な心のケアが必要な被災者に対して、精神科医師・保健師等による心のケアを実施

こころのケアチーム

被災者への専門的な心のケア, 各種支援者への技術的支援

未来に挑戦する産業基盤の創生

❖地域経済の再生と新たな発展

- 中小企業等「グループ補助金」や金融支援策等により、被災企業の速やかな再生を進める
- さらに、A I / I o T等の利活用によるイノベーション力の強化や、産業人材の集積支援等による新たな発展を促進する。



❖観光産業・ひろしまブランドの復興

- より高い経済波及効果を目指して、宿泊支援事業（ふっこう周遊割）と観光プロモーションを一体的に行うことで相乗効果を高め、観光産業の復興を目指す。



未来に挑戦する産業基盤の創生

農林水産業の復興・経営基盤の強化

(呉市安浦町市原地区の取組)

市原地区被災前



棚田が広がる、被災前の農地



市原地区被災後



被災した農地



復旧イメージ



大区画化の例



復興の方針

- ・ 地域住民と行政機関が一体なって復興を推進
- ・ 将来展望が開ける地域農業への再生
- ・ 新たな担い手が農業のしやすい農地の整備

- 小規模 零細な農業
- 狭小な農地による営農



7月豪雨災害発生

死者3名 全壊家屋7棟他
農地、農業用施設に甚大な被害



- 農地の**大区画化**による復旧・復興
- 農道、農業用排水路等の再整備



- 新たな担い手への農地集積
- 収益性の高い農業の実現

将来に向けた強靱なインフラの創生

❖公共土木施設等の強靱化

- 再度災害防止の観点から、改良復旧に積極的に取り組むとともに、被災前の構造にこだわることなく被害の発生の要因を踏まえた工法の選定などにより、公共土木施設の強靱化を進める。

❖水道施設の強靱化

- 全ての水道施設の被災リスクを改めて洗い出し、必要な対策を検討・実施することにより、災害や事故等に強い水の供給体制を構築する。

新たな防災対策を支える人の創生

❖防災対策を支える人の創生 ～災害に強い人づくり

- この度の豪雨災害では、実際に避難した住民の方が少なかったことから、どのような要素が、早めの避難行動につながるのかを導き出すため、県民の皆様の避難行動と、その理由などに関する調査※を実施
 - ※ 被害が特に大きかった9市町の約5百人の方を対象に、面接調査を実施
その後、面接調査の状況を踏まえた、5千人規模の郵送調査を実施
- これらの調査をもとに、行動心理学や行動経済学等の専門家で構成する研究チームにより、詳細に分析していただいた上で、より効果の高い被害防止策の、一日も早い構築に取り組む。

最後に

**皆様と力を合わせて、あらゆる手立てを講じ、
一日も早い復旧・復興と更なる発展に向けた
新たな広島県づくりに全力をあげて取り組み、
より元気な広島県を実現してまいります。**